

For Earth, For Life
Kubota

クボタミニバックホー

RX-153S



クボタの新・実力。RX-153S。

その先のクリーンへ、エンジンから進化したクボタミニバックホー。

青い空には、爽やかな風が似合う。

よりクリーンな環境への思いを込めて“そよ風 (Zephyr)” からその名を連想したクボタミニバックホー、ZEPH^{ゼフ}シリーズ。

国土交通省排ガス第3次基準値に適合したエンジンを搭載し、ボディカラーもよりシャープなデザインとなりました。

もちろん、クボタ独自のハイパフォーマンスも細部にわたって継承。

トータルな完成度を一段と高めたクボタミニバックホー RX-153S。

ZEPH^{ゼフ} SERIES

排出ガス対策型建設機械(第3次基準) 指定制度について

国土交通省では、建設施工における排出ガスの低減を目的として、1991年度より「排出ガス対策型建設機械指定制度」を実施し、1996年度から国土交通省直轄工事における使用の原則化を行っています。2006年度からは「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(オフロード法)と同等基準の第3次基準値による型式指定が開始されました。



ENGINE / SAFETY

作業効率を高め、操作性を向上し最高水準の安全性を実現。

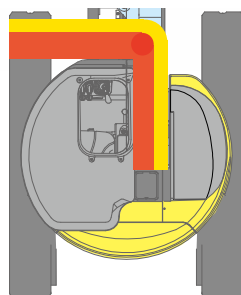
排ガス規制対応 エンジン搭載！

高出力、高トルク、クリーン排気。新世代排ガス対応エンジンは、国土交通省排ガス第3次基準値とオフロード法に適合する低エミッション性能を実現。さらに米国 EPA (環境庁) Int. Tier 4 排ガス規制、欧州 EU Stage IIIA 排ガス規制をも高い水準でクリアする環境に優しく、低振動・低騒音性を併せ持つエンジンです。エンジンを鋳造段階から製作する数少ないメーカーであるクボタ。その約一世紀にもわたる経験と技術、そして小型産業用ディーゼルエンジン (100 馬力以下) における世界トップクラスシェア (注: PSR 調べ 2014 年データ) の実績が凝縮したエンジンが、これからの現場作業をバワフルに支えます。



運転席干渉自動回避システム

バケットが運転室に衝突しないよう、干渉領域に入る前に、ブームが止まることなく滑らかに運転室を回避。従来のようにブームが止まり、再作動時にはブームを干渉領域外まで戻す必要がなく、ノンストップで作業が続行できます。オペレータはストレスを感じることなく、作業効率もアップします。



■ 自動回避領域 ■ 干渉防止領域

安全レバー&エンジンニュートラルスタート

安全レバーをロックすることで不意の誤操作による作業機、旋回、走行の作動を防止。またレバーがロック状態でなければエンジンが始動しない仕組みとなっています。



※掲載の写真はカタログ用に撮影しています。現場を離れる時は作業機を接地してください。

TECHNOLOGY

いたるところに一歩進んだ技術が凝縮されています。

前置きデジタルメータ

大画面 + シンプル表示で見やすいコンソール一体型デジタルメータを採用。機体前面配置なので作業中も最小限の視線移動で各種確認が可能。簡単操作で必要な情報を表示でき、機能ボタンを液晶の下に配置するなど高い操作性を発揮します。



時計表示



燃料残表示

■各種機能

- ・水温計表示
- ・アウメータ表示
- ・タコメータ表示
- ・メンテナンス表示
- ・ユーザー設定表示
- ・警告表示
- ・キー忘れ表示

オリジナル盗難防止装置「SS キー」を標準装備

「SS キー」は、キーに埋め込まれたICチップのキーナンバーを本体が確認することで、はじめてエンジンが始動するハイテクキー。キーの形状が同じでも、別のキーでは始動できません。電気系統・油圧系統・燃料系統の3つをロックするので安心です。



万一キーを紛失しても「登録キー（赤）」を差し込み「個別キー（黒）」を差し込むだけで新しいキーの登録が完了。

新しいキーを登録すると、紛失したキーは使用できなくなります。また1本のキーで複数台の機械が始動できる「お客様専用キー」も準備しています。



MAINTENANCE

頼りがいのある耐久性と、確実な点検・整備性の追求。

簡単に開閉できる、フルオープンボンネット

後部と右サイドのボンネットが大きく開くので、エンジン周りや燃料系の日常点検・整備が手軽に可能。本格的な整備の際は、わずか数分で後部と左サイドのボンネットの取り外しができ、内部の点検・整備がスピーディかつ確に行えます。



シート下点検窓

シートの下部に点検窓を設置。エンジンオイルやラジエーター液の注入などメンテナンスが容易に行える便利な装備です。



損傷やトラブルを最小限に抑える、 先進の装備と優れた整備性

●ダクタイル製オフセットブラケット

アーム取付部のブラケットに、優れた耐久性を誇るダクタイルを使用。また、外観デザイン面にも配慮しました。

●ポテンションユニットのアーム内装化

高精度の角度センサをアームに内装し、不意の衝撃から保護します。

●山型ブームシリンダカバー

廃材などの積み込み作業時もブームシリンダを損傷から守る特殊形状のカバーを装備しています。

●分割ドーザホース

ホースを途中で分割することで、不意の損傷時にも、ホースの整備・交換が容易に行えます。

●クローラ緊張スプリングを標準装備

ゴムクローラの耐久性を向上させる緊張装置を装備。

●オートグロー採用

自動で水温を感知し、最適なグロー時間に切換えます。

●取説・工具入れ

シートの横に取説や工具を入れておくボックスを装備しました。



強固なフロント各部

作業中に大きな負荷のかかるブームの両端、走行モータサポートに鋳鋼材を使用。また、フロント支点部は大径フロント支点ピンにより強化しています。



シートの耐久性を向上 / 走行モーターホースの内装化

丈夫なシートを採用するとともに、排水穴を設け、内部への水の侵入を防ぎます。

また、走行モーターホースを内装化し、損傷の危険からしっかり保護します。



※掲載の写真はカタログ用に撮影しています。現場を離れる時は作業機を接地してください。

PERFORMANCE

鍛え抜かれたアスリートのような基本性能。

2t クラスに迫る掘削力&作業範囲

最大掘削力 (爪元):13.0 kN
(1,325 kgf)

最大掘削深さ :1,935 mm

最大掘削半径 :3,480 mm

走行 2 速を標準装備

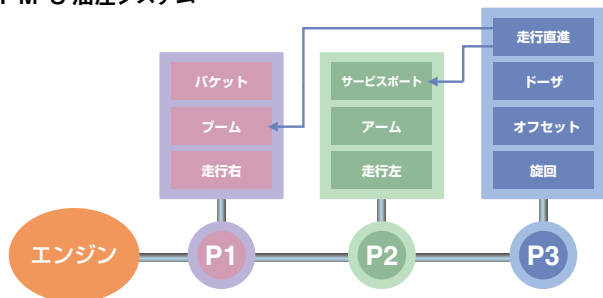
スイッチ操作一つで高速モードに切り替えが可能。現場での移動やトラックへの積み込み時にもスピーディな走行で時間短縮が図れます。



H・M・S 油圧システム

ブーム・アーム・旋回にそれぞれ独立したポンプを使用する3ポンプシステムを採用し、制御範囲の広いコントロールバルブ、可変容量ポンプを搭載。パワフルな掘削性能をはじめ、油圧システムとの最適マッチングにより、バケット・ブーム・アーム・旋回の同時操作を可能としました。さらに、走行直進回路の搭載により、走行時にブーム操作をしても安定した直進走行を実現するなど、現場のハードな要求に高次元でお応えします。

H・M・S 油圧システム



優れた走行安定性

走行牽引力を20%アップ。現場での移動やドーザによる均し作業に優れた安定性を発揮します。※当社従来機比

可変脚仕様 (標準採用)

進入路が狭い現場への進入を考慮して可変脚クローラを採用。走行・輸送時はコンパクトな990mmに、作業時には1,240mmに拡張することで安定性が高まり、多様な作業に対応可能。伸縮はレバー操作で簡単に行えます。



走行・輸送時はコンパクトに
縮小時 990mm

掘削作業時は安定性が向上
拡張時 1,240mm



サービスポート (オプション)

ハンドブレーカなどへの油圧取り出しが可能です。



油圧パイロットレバー

油圧パイロット式コントロールレバーを採用し、ストレスのない滑らかな操作フィーリングを実現。



アームかき込み制限を標準装備 (2モード)

アタッチメントに応じて、アームのかき込み位置を標準バケット・平爪の2モードに切り替え可能。アームのかき込み量を自動制限し、平爪バケット装着の場合もブームシリンダの破損を防ぎます。



外ツバ式ローラーを搭載

ショートピッチゴムクローラ

横方向の安定性が向上。さらにショートピッチゴムクローラを採用し、走行時の乗り心地がアップ。より安全で快適な作業をサポートします。



スーパーチェンジ／

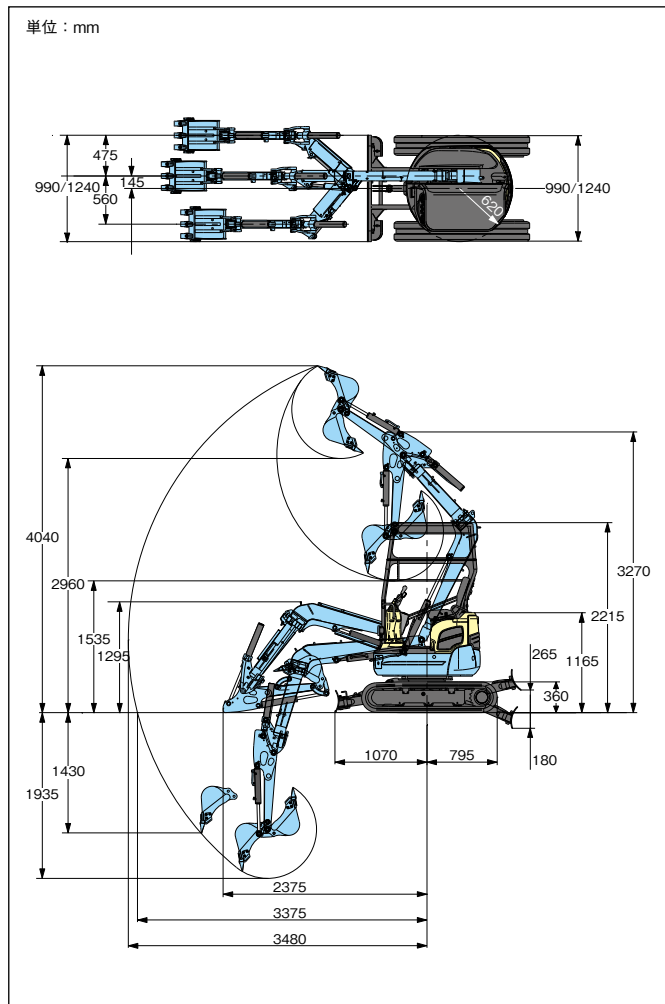
4パターンマルチ (オプション)

操作パターンが他社方式に簡単に切り替え可能。また、4つの操作パターンに切り替えることもできます。



※掲載の写真はカタログ用に撮影しています。現場を離れる時は作業機を接地してください。

■ 作業範囲図



■ 仕様

| 型 式 | | RX-153S |
|---------------|-------------------|---------------------------|
| バケット容量 | JIS平積 / 山積 | 0.026/0.036m ³ |
| 標準バケット幅 | (サイドカッタ含む/含まず) | 400/350mm |
| 機械質量 | | 1,580kg |
| 機体質量 | | 1,310kg |
| 機体寸法 (輸送時) | 全長 | 3,180mm |
| | 全高 | 2,215mm |
| | 全幅 | 990-1,240mm |
| | 最低地上高 | 150mm |
| エンジン | 区分 | クボタ水冷3気筒D782-K3A |
| | 形式 | D782-E2-BH-5 |
| | 総排気量 | 0.778L(778cc) |
| | 定格出力/回転数 | 8.8kW(12PS)/2,100rpm |
| 掘削性能 | 最大掘削高さ | 4,040mm |
| | 最大ダンプ高さ | 2,960mm |
| | 最大掘削深さ | 1,935mm |
| | 最大垂直掘削深さ | 1,530mm |
| | 最大掘削半径 | 3,480mm |
| | オフセット量(右/左) | 475/560mm |
| | 最小フロント旋回半径(スイング時) | 620mm |
| | 後端半径 | 620mm |
| 標準シュー | 最大掘削力(爪元) | 13.0kN(1,325kgf) |
| | 標準シュー形式 | ゴムクローラ |
| 走行部 | シュー幅 | 230mm |
| | クローラ全長 | 1,585mm |
| | タンブラ中心距離 | 1,230mm |
| | クローラ中心距離 | 760-1,010mm |
| | 走行速度(1速/2速) | 2.0/3.6km/h |
| 登坂能力 | 30°(58%) | |
| 旋回速度 | | 8.0rpm |
| 排土板 | 排土板(幅) | 990-1,240mm |
| | 排土板(高さ) | 260mm |
| | リフト量(GL上/下) | 265/180mm |
| 油圧ポンプ形式 | | 可変容量型ピストン式×2+ギア式×2 |
| 旋回モータ形式 | | オービットモータ |
| 走行モータ形式 | | ピストンモータ:2F |
| 燃料タンク容量 | | 17.5L |
| 作動油量 | | 13L(タンク内)/21L(全量) |

■アタッチメント&オプション一覧表 ※納期など詳細は販売店にお問い合わせ下さい。

| 品名 | 仕様・用途 |
|----------|---------------------------------|
| 狭幅バケット | 幅300(250)mm 0.023m ³ |
| 4パターンマルチ | クボタ(JIS)と日立・コマツ、三菱、神鋼パターンに切替え |
| スーパーチェンジ | クボタ(JIS)と日立・コマツパターンに切替え |

※バケット幅〈 〉はサイドカッタ含まず ※バケット容量は新JIS山積で表示

| 品名 | 仕様・用途 |
|---------|--|
| 鉄クローラ | 幅230mm、37リンク、ダブルクローサータイプ |
| サービサポート | 24.6L/min 18.6Mpa (190kgf/cm ²)、ハンドブレーカなどに |

- ご使用される時は取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- 作業の際には必ずシートベルトを着用して下さい。
- 機体質量 3t 未満の建設機械を運転する場合には、事前に「車両系建設機械運転特別教育」を、3t 以上の場合は「車両系建設機械運転技能講習」を必ず受講して下さい。
- 故障や事故を防ぐ為、機械の定期的な点検を必ず行って下さい。
- 特定自主検査は厚生労働大臣又は労働基準監督局長の登録を受けた検査業者で検査を行なうよう義務づけられています。



URL: <https://kubotakenki.co.jp>

| | | |
|---------------------------|-------------------------------|---------------|
| 株式会社 クボタ 建設機械営業部 | 大阪市浪速区敷津東1-2-47 | |
| 株式会社 クボタ 建機ジャパン 本社 | 大阪市浪速区敷津東1-2-47 ☎06-6648-2120 | |
| 北海道営業部 | 北海道北広島市大曲工業団地3-1 | ☎011-377-5511 |
| 東北営業部 | 宮城県名取市田高字原182-1 | ☎022-384-2144 |
| 関東第1・第2営業部 | 東京都中央区京橋2-1-3 | ☎03-3245-3614 |
| 中部営業部 | 愛知県一宮市観音町1-1 | ☎0586-73-1235 |
| 関西営業部 | 兵庫県伊丹市奥畑5-10 | ☎072-781-7715 |
| 中国営業部 | 広島県呉市広多賀谷3-4-10 | ☎0823-72-0233 |
| 四国営業部 | 香川県丸亀市飯山町下法軍寺90 | ☎0877-98-0277 |
| 九州営業部 | 福岡県大野城市御笠川2-3-1 | ☎092-503-3802 |

製品の詳しいご相談は下記までご連絡ください。



●本カタログに記載されている仕様は予告なく変更させていただくことがあります。
●ブレーカ作業をする時は「車両系建設機械(解体用)運転技能講習」修了証が必要です。